

みずほCustomer Desk Report 2023/02/28 号 (As of 2023/02/27)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】				公示仲値	136.24
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	136.44	1.0554	144.01	1.1947	0.6734
SYD-NY High	136.58	1.0620	144.53	1.2064	0.6744
SYD-NY Low	135.92	1.0533	143.59	1.1923	0.6699
NY 5:00 PM	136.24	1.0609	144.54	1.2063	0.6739
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	32,889.09	72.17	日本2年債	▲0.0300%	0.0000%
NASDAQ	11,466.98	72.04	日本10年債	0.5000%	0.0000%
S&P	3,982.24	12.20	米国2年債	4.7804%	▲0.0322%
日経平均	27,423.96	▲ 29.52	米国5年債	4.1704%	▲0.0404%
TOPIX	1,992.78	4.38	米国10年債	3.9209%	▲0.0252%
シカゴ日経先物	27,535.00	200.00	独10年債	2.5850%	0.0570%
ロンドンFT	7,935.11	56.45	英10年債	3.8065%	0.1505%
DAX	15,381.43	171.69	豪10年債	3.8900%	0.0260%
ハンセン指数	19,943.51	▲ 66.53	USDJPY 1M Vol	12.24%	0.09%
上海総合	3,258.03	▲ 9.13	USDJPY 3M Vol	11.82%	▲0.15%
NY金	1,824.90	7.80	USDJPY 6M Vol	11.22%	▲0.15%
WTI	75.68	▲ 0.64	USDJPY 1M 25RR	▲1.40%	Yen Call Over
CRB指数	268.60	1.45	EURJPY 3M Vol	11.01%	▲0.16%
ドルインデックス	104.67	▲ 0.54	EURJPY 6M Vol	10.88%	▲0.14%

アジア	東京時間のドル円は136.44レベルでオープン後、12月の日銀会合前の水準程度まで上昇していたこともあり、実需の売りも相応に入り136.00まで下落する場面も見られた。ただ、下落一服後は米金利も下支えとなり値を戻すと136.35レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は136.35レベルでオープン。欧州株が前日比プラス圏で推移するなか、全般的なドル売りが先行し主要通貨が買われた。しかし、クロス円で主要通貨が買い・円売りが同時に進行したこと、ドル円は結果的に支えられ、底堅い値動きに。一時、東京時間安値の136.00をつける局面もあったが、その後やや反発し、136.31レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は136円台半ばでスタート。一時136.58まで上昇し、前日高値(136.52)をわずかに更新する場面もあったが、昨年12月の以来となるこの水準では実需の売り意欲が見られ、136.00まで下落。売り一巡後は136円台前半でもみ合い、136.31レベルでNYオープン。朝方発表された米1月耐久財受注件数は予想を下回るが、米1月製造業受注件数は予想を上回り、強弱まちまちの結果で明確な手掛かり材料は見当たらなかったが、米国債の買いで反応し、ドル売りが強まった結果、一時135.92まで下落した。しかし、その後発表された米1月中古住宅販売件数が予想を上回ったほか、クロス円の堅調推移にサポートされ、136円台前半まで買い戻された。午後はドルと円が同時に売り優勢となった結果、136.20付近で膠着状態。結局、136.24レベルでクロス。一方、海外市場のユーロドルは1.05レベル半ばでスタートした後、狭いレンジでの推移が続き、1.0559レベルでNYオープン。朝方は米金利低下を眺めながらドルが売られる中、ユーロドルは1.0620まで上昇。その後、1.05台後半まで反落する場面もあったが、スナク英首相とフォンデアライエンEC委員長がブレグジット交渉で争点となっていた北アイルランドの物流規則を巡り合意したとの発表を受けて上昇したポンドドルに連れ高になったことから再び1.06レベルを回復。終盤は1.06レベル前半で小動きとなり、1.0609レベルでクロス。

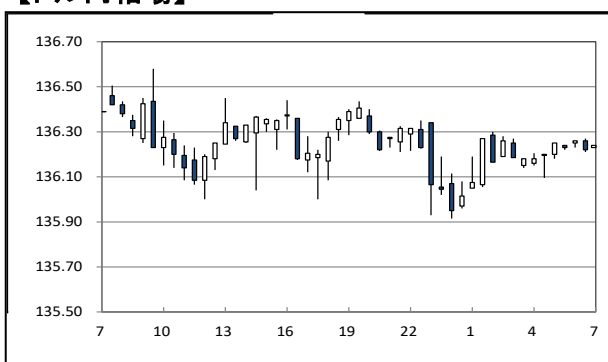
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
2月27日	14:00	日 景気一致指数・確報	12月 99.1	-
	19:00	欧 消費者信頼感・確報	2月 -19	-
	19:00	欧 鉱工業信頼感指数	2月 0.5	1.8
	19:00	欧 サービス業信頼感指数	2月 9.5	12.1
	22:30	米 耐久財受注(前月比)・速報	1月 -4.5%	-4.0%
	22:30	米 耐久財受注(除輸送用機器)・速報	1月 0.7%	0.1%
2月28日	00:00	米 中古住宅販売仮契約(前月比)	1月 8.1%	1.0%

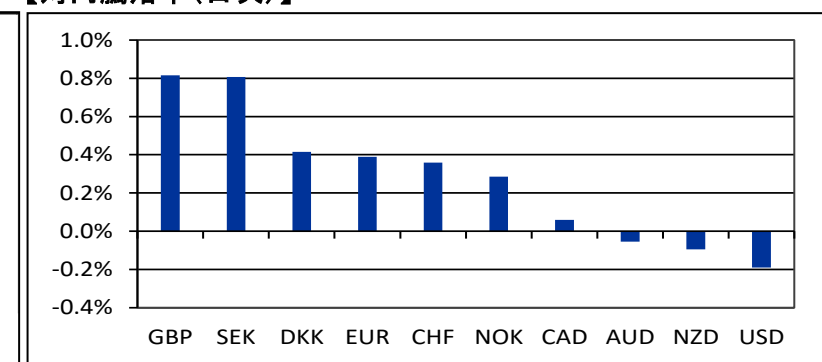
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
2月28日	08:50	日 鉱工業生産(前月比/前年比)・速報	1月 -2.9%/-0.7%	0.3%/-2.4%
	22:30	米 卸売在庫(前月比)・速報	1月 0.2%	0.1%
3月1日	00:00	米 コンファレンス・消費者信頼感	2月 108.5	107.1

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	135.50-136.70	1.0550-1.0700	143.80-145.00

【マーケット・インプレッション】

昨日の海外市場でのドル/円はレンジ相場となった。先週末までの米金利先高観をテーマとするドル買いが一服、発表された米1月耐久財受注が市場予想を下回り、ドルの調整売りが強まったことから一時136円を割り込む局面もあった。しかし、スナク英首相とフォンデアライエン欧州委員長が、北アイルランドの物流・関税規制の緩和で合意したとの報道を受けて、英ポンドが急反発し、ポンド/円も大幅に上昇したことがドル/円のサポートとなり、136円台前半に戻す値動きとなっている。本日のドル/円は引き続きもみ合う展開を予想する。足元では米経済指標の堅調ぶりが目立つものの、米10年債利回りは4%を超えられない状況が続く等、米金利上昇が一服しており、ドル/円も136円台後半では売りが強まりやすく、上値の重さが感じられる。本日は月末の為、実需のフローで上下に振れる局面が想定されるものの、材料不足の状況下ではレンジ内での動きに終始すると思われる。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:大熊・逸見